

vol. 0 創刊準備号

2006年5月30日発行

コミュニティ・ユースバンク momo ニュースレター

# momo 通信



## ごあいさつ

### 地域に必要とされる金融機関を目指して

東海地方で初となる市民の非営利バンク(NPO バンク)として産声を上げて、早いもので約半年が経過しました。活動を開始した2005年4月からmomo設立までの半年間は「NPO バンクを設立する」という目標を掲げ、メンバー一人ひとりの力を重ね合わせてきた結果、その目標はなんとか達成することができました。

momoの組織運営の中心は20~30代の若者たちです。これからの地域社会を担っていく若者が自分たちの望む未来をつくっていくこと。momoの名前にもある「ユース」と「バンク」の両輪を実現しようと、知識も経験もない若者たちが日々葛藤しながらも成長し、2006年夏からはよいよ融資業務を開始する予定です。

momoの次なる目標は「地域に必要とされる金融機関になる」です。この「地域」にはいろいろな意味が含まれています。愛知・岐阜・三重という東海3県そのものだったり、この地域に暮らす市民や、事業を通して地域の課題を解決しようとする個人・団体など、momoに関わるすべてのみなさまに、まずはmomoが必要だと思ってもらうこと。これがmomoの目指す「豊かな未来を実感できる地域社会づくり」への第一歩だと私たちは考えています。

メンバーのほとんどが金融業に携わったことがないのに、初めから「完璧です」とはとても言えませんし、みなさまと一緒に継続していくうちにわかってくることも多いと思います。至らぬ点もあるかと思いますが、今後ともmomoをよろしく願いいたします。

2006年5月30日

コミュニティ・ユースバンク momo 代表理事 木村 真樹

## 目次



### ごあいさつ…… 1

代表理事 木村真樹より巻頭メッセージ

### 創刊準備号記念対談…… 2

「お金の地産地消」を目指す  
~NPOバンクの草分けが若者に送るメッセージ~

### momoのあゆみ…… 5

2005年3月キックオフセミナーからmomoの活動を紹介

### momoの人たち…… 6

momoレンジャー・地域・出資者・賛同人・理事の声を紹介

### 報告…… 8

報道探録 出資状況 融資状況



## 「お金の地産地消」を目指す

～ NPOバンクの草分けが若者に送るメッセージ～

未来バンク事業組合理事長・田中優氏 × コミュニティ・ユース・バンク momo 代表理事・木村真樹

「地域のお金を地域に役立つ形でまわしていきたい」という思いから、コミュニティ・ユース・バンク momo が活動を開始して半年。今夏には融資募集を開始する予定だ。

融資募集開始を前に、momo の代表理事・木村真樹と日本初の NPO バンク「未来バンク事業組合」理事長・田中優さんの対談が実現。田中さんは、木村が「NPO バンクをつくらう」と決心するにあたり、大きな影響を与えた一人だ。「お金の流れを変えるアプローチの仕方はいろいろある。まずは momo が地域に必要な金融機関になること」と目標を話した木村に、田中さんは「ユニークな資金ニーズに柔軟に対応をできる仕組みづくりを」とエールを送った。



### ■優さんとの出会いが momo 誕生へ

**寺西** 司会進行を務めます momo レンジャー<sup>1</sup>の寺西菜摘です。今日は全国に広がりつつある NPO バンクの草分けである未来バンクと、東海初の NPO バンク、コミュニティ・ユース・バンク momo の誕生の背景と、momo の目指すべき姿について、お話をしていきたいと思っています。さっそくですが、momo 誕生のきっかけは、田中優さんとの出会いがあったからと聞いています。

**木村** 優さん、僕との出会いを覚えてます？

**田中** 覚えてない(笑)。

**木村** やっぱり(笑)。僕が A SEED JAPAN<sup>2</sup> (ASJ) の事務局で働き出したのが 2003 年 4 月で、その月からエコ貯金プロジェクト<sup>3</sup>が始まった。若者が環境・金融という分野でやっていくのはハードルが高かったから、勉強会からスタートした。それで優さんにも 7 月に意見交換会に来ていただいたんだよね。それがはじめての出会い。「この人おもしろいなあ」って思った。

**田中** ああ、ASJ の事務局に行ったときね。

**木村** 初めて一緒にやった仕事は、04 年 1 月エコ貯金フォーラムというイベント。全国の NPO バンクの頭取(代表者) 5 人が初めて一堂に会した場だった。優さん

と一緒にコーディネートをしたんだよね。

**寺西** そのときにはすでに、momo の構想はあった？

**木村** まだなかった。ちょうどフォーラムで、「これは僕に課された使命」って勝手に運命を感じてしまった。銀行勤務を経て NPO の世界に来て、NPO バンクというものがあると知った最初のきっかけ。優さんにそそのかされたという部分もあるんだけど(笑)。

### ■日本初の NPO バンク

**木村** 優さんが市民活動や金融に興味を持ったきっかけは？

**田中** 市民活動を始めたのは、20 年前のチェルノブイリ原発事故がきっかけ。ちょうど子どもが生まれた時期でもある。若いころは無責任な暮らしをしていたけど、子どもができたなら逃げるのができなくなったとか、ちゃんと向き合わなければいけないと思った。地域のグループで脱原発活動を始めたが、運動はやがて衰退し始めた。生活に密着した活動にできなかったんだ。だからその後、リサイクルなどのごみ問題に取り組んでいった。その中でぶつかったのが貧困問題だった。途上国からあまりにも安い製品が入ってくるから、リサイクルするより新品を使い捨てるほうが安くなるんだよ。

**寺西** 確かに、日本には安い商品があふれていますよね。

**田中** 貧困問題の原因は「金貸し ODA」<sup>4</sup>。途上国は借金を円で返さなきゃいけないから、とにかくタダ同然でも輸出する。ODA の資金源のひとつは郵便貯金。他の事例も調べたけど、すべての環境破壊や人権侵害が郵便貯金を資金源にした財政投融资だという構図が見えてきた。「この金をなんとかしないとまずい」と思い、93 年に『どうして郵貯がいけないの』(北斗出版)という本を出した。読者に「どこに預けたらいいの」と聞かれたけど、理想的な預け先はない。自分たちでやるしかないと考えて、94 年に未来バンクを立ち上げた。

**寺西** 日本初の NPO バンクですね。壁にぶつかるというようなことはなかったんですか？ 白い目で見られたりとか。

**田中** 周りからは「何ばかなことをやってるんだ。すぐつぶれるよ」と言われていたし、自分たちでもすぐつぶれると思っていた(笑)。法律の枠組みでは貸金業を使うしかなかったし、貸金業協会は前例がないから対応にとっても困っていた。いろいろ面倒はあったよ。

**寺西** それが 12 年で 1 億円の出資を集めるまでになった。ニーズがあったということですかね？

**田中** 10 年ぐらいきちんと運営できたら外に向けて PR していこうという方針でやっていたので、われわれは全然広報活動をやっていなかったんだけど、マスコミに取り上げられたり口コミで広がっていった。NPO 活動に共感を持っているけど自分自身は活動するまでに至らない、という層の人たちからの出資が多いかな。



### ■「地域の金は、地域でまわす」

**寺西** 未来バンク誕生から 12 年。全国にもいくつか

NPO バンクができて、東海地方にはコミュニティ・ユース・バンク momo が誕生しました。

**木村** 他のバンクのみなさんは、NPO バンクをいろんな地域につくって欲しいという思いでやっているの、ノウハウやしくみづくりでは協力をいただいた。若者でできれば他の地域にも広がっていく。地域のお金は地域でまわす、地域で生かす、「お金の地産地消」ということをもっと実践していかなければ。

**田中** 地方の人たちの貯金が全部東京に送られて、東京が使い道を決める。「ここに空港をつくろう」とか「ここにはダムをつくろう」だとか、公共事業という形で地方に届けられる。名古屋も今、莫大な借金を背負わされているんだ。二つも空港をつくったり、後の使い道のない万博をやったり。自分の金だったら、こんな金の使い方をしただろうか。それが自分たちのお金だって意識があったら、同じことをやったかい？

**寺西** もうちょっと主体的にいろいろなことを考えたかもしれない。

**田中** それぞれの地域のお金のことは自分たちで決めていかなければいけないし、使い方は自分たちで決定しなければいけない。だから未来バンクが大きくなって、たくさんの金を集める必要はない。各地域で NPO バンクが生まれてくれれば、われわれはこっそり隠れちゃおうかな、と思っている(笑)。



### ■レンジャーならできる「提案型融資」

**寺西** momo に対する期待はありますか？

**田中** あまり型にはまって欲しくないな。資金のニーズは多種多様にある。おもしろいニーズが出てきたらそれに対応できるような、柔軟なしくみで動いていてもらいたいと思う。

**木村** ap bank<sup>5</sup>の審査に参加して「自分の思いもなかったアイデアを形にしようとしている人たちがこんなにいるんだ」と希望が持てた。

<sup>5</sup> 小林武史氏らミュージシャンが出資して 03 年に誕生した NPO バンク (http://www.apbank.jp/index2.html)。木村は 2005 年 4 月より 1 年間、運営事務局スタッフとして融資審査に関わってきた

<sup>1</sup> momo の運営ボランティアスタッフのこと

<sup>2</sup> アシードジャパン、1991 年に設立された国際青年環境 NGO、東京都新宿区。http://www.aseed.org/

<sup>3</sup> ASJ のプロジェクトのひとつ。社会性のある金融機関を選ぶ「エコ貯金宣言」を呼びかけている

<sup>4</sup> ODA の 7 割を占める円借款のこと

田中 提案型融資ができればおもしろいと思うんだよね。「こういう事業をやってみませんか」っていう。

寺西 momo が生み出していくということですか？

田中 提起をしてそれに乗ってくれるような人たちに融資をしていく仕組み。

木村 融資先をつくっていくというのも僕らの仕事だと思っている。NPOバンクにしかできないこと。お金の流れを変える方法にはいろんなアプローチの仕方があって、預金者の意識を変えることも必要だし、既存の金融機関を変えていくということも。融資先へのアプローチも momo の使命だと考えている。

田中 momo レンジャーがいるというのが強みなんだよね。未来バンクの場合は人数が少ないから受身にならざるを得ない。「融資をお願いします」「わかりました」っていう対応だけ。「こんなやり方ができますよ。でも私は融資を決定できる立場にないから、うちの団体に申請してみてください」というようにやってみた

ら？ レンジャーがいるから提案型融資ができるんだよね。

寺西 金融に求められる信頼という部分に、若者はリスクだなあと感じますが。

木村 顔の見える関係でやっていこうと思っているから、若いという部分ではなくて個人的な信頼や理念に共感してほしい。

田中 成功する秘訣は、融資を受けた人たちが momo からの融資によって収入が増加するとか、ハッピーになれるとかね。そんな融資ができるかじゃないかな？

木村 地域に momo は必要なんだと思ってもらえる金融機関になりたい。まだ立ち上げ時期で「若者が何やってるんだ」と見ている人もいると思うけど、これからこの地域で暮らしていく若者がお金の使われ方を決めていくとか、地域を豊かにしていく事業をつくっていくことを目指して、活動していきたい。

(野口奈美)

田中優 (たなか・ゆう)

1957年東京生まれ。「未来バンク事業組合」理事長、「日本国際ボランティアセンター」理事、「足元から地球温暖化を考える市民ネット」理事等を含め活躍中。昨年、著書『戦争をやめさせ、環境破壊をくいとめる、新しい社会のつくり方』を合同出版から、今年5月には新著『戦争って、環境問題と関係ないと思ってた』を岩波ブックレットより刊行。



木村真樹 (きむら・まさき)

1977年名古屋生まれ。大学卒業後、銀行勤務、ASJ 事務局長を経て、05年10月にコミュニティ・ユース・バンク momo を設立、代表理事。06年4月からは生活の拠点を名古屋に移し、NPO 法人エコデザイン市民社会フォーラム事務局スタッフに就任。momo との二足のわらじで活動を展開中。http://kimura-office.net



寺西菜摘 (てらにし・なつみ)

1984年豊田市生まれ。現在大学4年生。あしたは今日よりももっと温かくステキな社会になるように、笑顔で活動中☆



【対談後記】  
▼環境・平和問題でよく耳にする「think globally, act locally」(地球規模で考え、地域で活動する)。しかし、優さんは自身の脱原発運動の盛り下がりを反省し、「think locally, act globally」(自分のオリジナルを引っさげて、グローバルスタンダードに立ち向かう)に。この発想の転換こそが、日本初のNPOバンク立ち上げを成功させた一因だったのでは。▼オリジナリティは「働き方」の中にも、「多様性のある働き方」をしたい、ひいては自分のリスクヘッジのため「声を合わせてこう語る木村と優さんは、社会にとっても強気。そして、かつこい。▼私の、この地域の、オリジナリティ・アイデンティティを強みにいざ action! 2人のきらきらした瞳につられて、心が高鳴る一日でした。(momoレンジャー・寺西菜摘)

momoのあゆみ



■キックオフセミナー／ボランティア説明会

2005年3月5日/21日  
NPOバンクに対して熱い思いがある人、自分の地域の問題を解決したい人、なにか社会がおかしいと感じている学生など、ボランティアメンバーが15名ほど集まり、NPOバンク設立に向けて動き出す。

■環境デーなごや

2005年8月21日  
エコな資金循環について、東海労働金庫等との協働でブース出展。ミニトークやパネル展示、お金環境地域に関する意識調査アンケートを実施。

■和響

2005年8月27日  
出資意向に関する調査や「お金の流れ体験ボード」を展示。

■先行事例調査

2005年8月～  
東京、神奈川、北海道のNPOバンクへインタビュー。それぞれの特徴などを調査。

■資金ニーズ調査

2005年8月～  
東海地区の市民団体へ足を運び、資金の課題を調査。

■団体名の決定

2005年9月  
この事業を通じて、本当に大切なものを見抜く感受性や想像力を自分たちの手に取り戻したいという願いから、ドイツのミヒャエル・エンデによって書かれた『モモ』(岩波書店)より、団体名を、「コミュニティ・ユース・バンク momo」に決定。

■設立総会

2005年10月23日  
200名以上の賛同人を得て、設立。  
東海ろうきん本店にて、WGCの向田映子さんをお招きし、若者の手によって、日本最西端のNPOバンクが誕生。

■ジェイアール名古屋タカシマヤ催事

～こころとからだ 地球にやさしい～ロハスな暮らし  
2005年10月26日  
ミニトークショーと、団体名の由来にもなった「モモ」の世界バーチャル体験を実施。

■出資募集の開始

2005年12月25日～  
momoのパンフレットとウェブサイトが完成し、出資募集がスタート。

■コミュニティビジネス全国サミット in あいち

2006年2月4、5日  
「金融を手作りする～お金に意思を持たせよう～」をテーマに、分科会を快哉。愛知コミュニティバンク代表・田中氏と東海労働金庫・鈴木氏をお招きしてのWSを行った。ブース出展も実施。

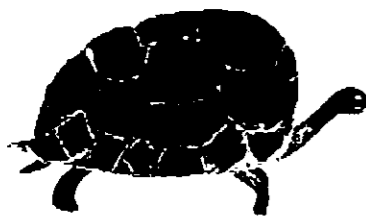
■ボランティア・NPO フェスタ 2006

2006年3月5日  
「お金の流れ体験ボード」を展示。

■「お金の流れからエコロジーを考える」

2006年4月8日  
未来バンク理事長・田中優氏を講師としてお招きし、私たちのお金と環境問題のつながりについて考える講演会とワークショップを実施。

(なごや環境大学共育講座)



# momoの人たち

momoは20代を中心とした若者によって運営しています。学校が終わってから、仕事を終えてから、momoに夢を重ねつつ活動する私たちは、出資者の方からいただくお手紙や、イベントでお会いするみなさんの声に日々励まされています。この「momo通信」が、出資者と、融資先と、momoと、この地域、をつなぐ架け橋になりますように。

この創刊準備号では、一部ではありますが、momoレンジャーの声・地域からの応援メッセージ、出資者の声、設立に賛同いただいた方の声、先行バンクのメッセージを紹介させていただきます。

## レンジャーの声

momoレンジャー☆いっしー

26歳、大学院生、男。このニュースレターが出る頃にはもうパパになっている予定です。一つの生命の親になる、とても大きな責任です。いつかその子も成長し、いろいろな経験をして、人や社会と関わりながら大人になる、そしてまた子供が生まれて成長する。そんな何世代も先の社会を、僕の想像が及び限り最高の社会をイメージする。そして今という時間にいる僕が、僕にできる限りのことをする。そんな大きな責任を背負っていると思っています。

岐阜県出身の大学院生です。専攻している化学を通して環境問題のひとつでも解決できることを考え、学校の研究活動と、このmomoの活動を両立させ毎日充実した日々を過ごしています。ap bank fes '05をきっかけにNPOバンクを知り、その後momoに関わり、お金が地域で循環することで失くしたものと新しい何かを見つけられるように、縁の下の力持ちのように地域に無くてはならないような役割が実現できるといいなと思っています。

momoレンジャー☆のぶ

## 地域の声

「お金に意思をもたせる」momoの実験は、私が挑み続けてきたコミュニティビジネス起業支援の社会実験の流れの中に位置付けることができるものです。自分のお金の使い道に確かな未来を託す・・・ここにこそ「貸すこと」以上の本質的な価値がある・・・momoの真骨頂発揮を期待しています。

NPO法人 起業支援ネット代表理事 関戸美恵子

## 出資者の声

一つでも多くの市民事業がこの地域で生まれ、地域の活力になることを大いに期待しています。  
 (20010911)  
 寄付では出せない金額を出してみることにしました。私が動いてもらった大切なお金です。しっかり運用して、「豊かな未来」という配当をください。応援してます!!  
 (yaano)  
 地球を人類を救う行為に金が有効に使われることに賛同し、又若い人たちの想いを支援したい。  
 (ウルフ)  
 私の出資したお金が未来の子どものために正しく運用されることを希望します。  
 (よっち)

市民バンク待ちわびていました。小額とはいえ自分の預貯金や保険掛け金が意に反する融資先や債権(日米国債!)に流れる口惜しさは長年痛感。せめて貯金は資金でという程度でした。支援したいSRIファンドや上場企業も見出せず、市民風車等へは出資済みですが、地産地消の地域づくり金融に参加できるのは喜びです。融資を受ける側になれるのが夢ですが、定年まではお手伝いする立場で追加出資を積み上げたい。  
 (南島)  
 若い人たちの「変えていこうとする力」に期待しています。でも、オバさんはオバさんなりの活動もしてますヨ。たとえば、人権派知事実現とか、古民家を活かしていくこと、森林保全。お互い動きましょ。 (PON)

## 賛同人の声

若者を中心とした市民金融の実践に期待します。  
 (女性・市民信用組合設立準備会 向田映子)  
 新鮮な感覚で運営されるバンクに期待しています。  
 (新潟コミュニティバンク 窪田明則)  
 いよいよ立ち上げですね。若い皆さんに期待します。市民による金融の自治が広がりますように。主旨に賛同し、一口のりです。ともにがんばろうね!  
 (東京コミュニティパワーバンク 坪井眞里)  
 自分たちの力で、自分たちのお金の流れを創造していくこと。名古屋で始まった若い人たちのこのプロジェクトが新しい未来の扉を開いていくことを期待しています。  
 (ap bank 運営事務局)

ほんとにつくってしまいましたね。若者運に期待しています。  
 (北海道 NPOバンク 北村美恵子)  
 生態系と民主主義が丸ごと「民営化」(実は私有化)されようとしている今、ぼくたちはNPOバンクから抵抗のろしを上げよう。  
 (NGO ナマケモノ倶楽部世話人 辻信一)  
 お金の使い方を考えることは、自分の責任について考えること。自分のお金に責任を持つ人が増えれば、貧困をなくすことも戦争を止めることもできるのです。このmomoが、次の世代を担う若い人たちによって立ち上げられ、運営されることを心から歓迎し、応援します。  
 (フェアトレードカンパニー株式会社 轟森なお子)

## 理事の声

■西井勢津子■  
 自称スローな主婦。木工好きの夫と二人暮らし。好きな言葉は「足るを知る」。momoは、お金が吸い上げてしまうゆとりや、未来や途上国の幸福を、わずかにでも取り戻したいという若者の血潮だと思っています。

■野口奈美■  
 名古屋生まれ、25歳。新聞社勤務。自分の生まれ育ったこの土地で子どもを生み育てずと生活をしていくために、momoの活動をしています。融資先開拓担当。

■川村友美■  
 多治見市在住。名古屋で会社勤務。着物と散歩が好きです。momoでは、融資の仕組みづくりを担当しています。momoと一緒に、地に足の着いた、当たり前の幸せを守る力になればいいと思っています。

■坂本竜児■  
 名古屋に移住して2年。しかしいまだに私の暮らしすまじ(=地域)とは実感できずにいます。だからこそmomoが地域を支える手段であり若者が活躍できる場であると思って参加。私自身のミッションと重ねて共創していきたい。

■平井久美子■  
 地域で働き、暮らす家族と家業を守っていくことを考えた時、地域の現状と未来に恐怖を覚え地元のNPOに参加したことが、全てのはじまり。岐阜県岐阜市在住、家族と暮らす26才。



## 報道採録

momoの取り組みは、  
以下のような媒体でも取り上げられています(2006年5月現在)。

### 【新聞】

- ・日本経済新聞:2005年4月28日付夕刊
- ・西日本新聞:2005年7月6日付夕刊
- ・中日新聞:2005年10月23日付朝刊
- ・朝日新聞:2005年10月24日付朝刊
- ・日本経済新聞:2005年10月24日付夕刊
- ・中日新聞:2005年11月6日付朝刊
- ・日本経済新聞:2006年1月19日付夕刊
- ・読売新聞:2006年1月23日付朝刊
- ・ニッポン:2006年3月17日号
- ・名古屋タイムズ:2006年4月18日付

### 【テレビ】

- ・テレビ東京「ワールドビジネスサテライト」:2005年4月6日
- ・テレビ愛知「マイユウ!」:2005年10月24日

### 【ラジオ】

- ・ZIP-FM「CELEBRITY NIGHT」:2005年3月28-29日
- 「HOLIDAY SPECIAL DESIGNE YOUR FUTURE」:2006年1月9日

### 【雑誌】

- ・domingo Vol.2:2005年4月発行
- ・ソコト:2006年1月号
- ・週刊金曜日:2006年1月13日(589号)
- ・ソコト:2006年4月号

### 【その他】

- ・アーステイ公式ライフスタイルガイドブック「地球の日の歩き方」
- ・Yahoo!ボランティアアーステイ特集 2006

### ■ 出資金 申込手続きのご案内

momoのウェブサイトもしくは郵便にて「申込書」をお取り寄せの上、必要事項にご記入 & ご捺印のうえ、以下の住所までご郵送ください。後日、振込口座のご案内等をお送りします。

### ■ momo レンジャーを募集中!

運営事務局(momo レンジャー)では、momo の企画・運営等を担うボランティアを募集しています。興味をもたれた方は、以下の連絡先までお問い合わせください。

### ■ 「出資のてびき」(パンフレット)・ポストカード随時送付中!

momoをもっと知りたい方、momoの輪と一緒に広げてくださる方を募集しております。希望部数をお書きの上、ご請求ください。



## 購読会員募集!

momoの奮闘ぶりが伺えるニューズレターの購読会員を随時募集しております。次回からいよいよ融資のお話が始まります!乞うご期待☆

年4回発行 年会費 2000円

\*申込手続きは「出資金受付」と同様

コミュニティ・ユース・バンク

momo

(webサイト) <http://www.momobank.net>



## 出資状況

出資者	63人
出資口数	477口
出資金額	477万円

(2006年5月30日現在)

\*貸金業登録まであと一歩です!



## 融資状況

貸金業登録を行い、融資の審査基準を策定すると、いよいよみなさまの出資金を地域のために融資することができます。

こんな事業に融資をしたい!という情報をお持ちでしたら事務局までお寄せください。

### ■ Special Thanks

東海労働金庫 A SEED JAPAN

全国各地のNPOバンク 中部リサイクル運動市民の会  
地域の未来・志援センター

そして、momoに関わるすべてのみなさま

コミュニティ・ユース・バンク momo  
ニューズレター momo 通信 創刊準備号  
■発行

コミュニティ・ユース・バンク momo  
<http://www.momobank.net/>

### ■ 発行人

木村 真樹 (きむ)

### ■ 編集

momo 運営事務局 (momo レンジャー)  
担当 寺西菜摘 (なっちゃん)

■ご意見・ご感想・PR・情報の提供等は  
[info@momobank.net](mailto:info@momobank.net) まで

### ■ ご寄付は

#### ○東海労働金庫

(窓口でのお振込みに限り、振込み手数料無料☆)  
振込用紙を送付します

#### ○郵便振替口座

口座記号番号 00820-1-204868

加入者名

「コミュニティ・ユース・バンク momo」

編集後記(雑感)  
なつみ: やった! 就職が決まったよ。りゅう: よかった。心配していたんだよ。momo: ばかりに時間を注いでいたからね。な: 一時は就活を休止しようと思っていたけど、なんとか岡立できました! り: そうだった、途中で落ち込んでいたよね。ところで、momoみために最初から事業を組み立てたのって始めてでしょ? 苦労があったでしょ? な: でも私みたいな若輩者に企画段階からかわれる場所ってないですもん! り: ちゃ楽しかったです☆ り: インターンや万博の経験があったので任せられたよ。それに、見た目が随分張れそうだったし @ 見た目には余計ですけど、笑顔で乗り切れた。仲間がいることが幸せ。これからもmomoのあったかワールドを創っていききたいですね!

【お問い合わせ先】

〒460-0014 愛知県名古屋市中区富士見町9-16 有信ビル2F

(E-mail) [info@momobank.net](mailto:info@momobank.net) (FAX) 052-339-5651